



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月7日

上場会社名 株式会社 ムサシ 上場取引所 東
コード番号 7521 URL <https://www.musashinet.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽鳥 雅孝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 山本 義明 TEL 03-3546-7710
四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 2023年12月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	16,779	△8.8	730	△53.0	751	△52.8	498	△53.0
2023年3月期第2四半期	18,389	9.0	1,555	178.3	1,592	181.2	1,060	213.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 780百万円 (△31.3%) 2023年3月期第2四半期 1,135百万円 (211.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	73.11	—
2023年3月期第2四半期	155.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	43,969	29,342	66.7
2023年3月期	43,893	28,698	65.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 29,342百万円 2023年3月期 28,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	23.00	—	20.00	43.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,432	△4.4	1,087	△58.5	1,122	△58.5	676	△61.6	99.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	7,950,000株	2023年3月期	7,950,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,135,605株	2023年3月期	1,135,544株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	6,814,395株	2023年3月期2Q	6,814,456株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類移行により行動制限が緩和され、正常化に向けた動きがみられたものの、ウクライナ情勢の長期化等に伴う原材料・エネルギー価格の高止まりや、円安の長期化、継続的な物価上昇による個人消費停滞の懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの各セグメントの概況は以下のとおりであります。

(情報・印刷・産業システム機材)

情報・産業システム機材は、文書のデジタル化事業が官公庁・自治体及び民間企業からの受注とも概ね順調に推移しました。また、工業用検査機材の販売も順調に推移しました。一方、業務用ろ過フィルターの販売は半導体等の需要減の影響を受けたほか、前年度大幅に伸長した電子化機器の販売が反動減の影響を受けました。

印刷システム機材は、印刷材料の販売が低調に推移しましたが、POD機器や特殊プリンターの販売が伸長し概ね順調に推移しました。

(金融汎用・選挙システム機材)

金融汎用システム機材は、貨幣処理機器の販売が金融機関を中心に、新紙幣発行に伴う更新需要などを取り込み概ね順調に推移しましたが、セキュリティ機器の販売が商談遅延の影響を受け低調に推移しました。

選挙システム機材は、統一地方選挙向けに投票用紙交付機、投票用紙読取分類機、計数機などの機器の販売が順調に推移しました。また、システム販売やサポート業務も伸長しました。

(紙・紙加工品)

紙・紙加工品は、医薬品や化粧品向け紙器用板紙などの販売が伸長しました。また、印刷用紙や情報用紙の販売も概ね順調に推移しました。

(不動産賃貸・リース事業等)

不動産賃貸業、リース事業等は堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高167億79百万円（前年同期比8.8%減）、営業利益7億30百万円（前年同比53.0%減）、経常利益7億51百万円（前年同期比52.8%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億98百万円（前年同期比53.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産の残高は324億16百万円となり、前連結会計年度末より3億34百万円減少しました。

減少の主な要因は、現金及び預金の減少（6億90百万円）及び売上債権の減少（1億17百万円）、増加の主な要因は、棚卸資産の増加（3億64百万円）及び流動資産の「その他」の増加（1億5百万円）であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産の残高は115億52百万円となり、前連結会計年度末より4億10百万円増加しました。

増加の主な要因は、時価の上昇に伴う投資有価証券の増加（4億円）であります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債の残高は120億88百万円となり、前連結会計年度末より5億89百万円減少しました。

減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（5億5百万円）、未払法人税等の減少（2億22百万円）及び流動負債の「その他」の減少（2億48百万円）、増加の要因は、電子記録債務の増加（3億89百万円）であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債の残高は25億38百万円となり、前連結会計年度末より21百万円増加しました。

増加の主な要因は、固定負債の「その他」の増加(71百万円)であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の残高は293億42百万円となり、前連結会計年度末より6億44百万円増加しました。

増加の要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益4億98百万円及びその他有価証券評価差額金の増加(2億90百万円)、減少の要因は、剰余金の配当1億36百万円及び退職給付に係る調整累計額の減少(8百万円)であります。

この結果、自己資本比率は66.7%(前連結会計年度末は65.4%)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は前連結会計年度末に比べ6億90百万円減少し、189億95百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は2億96百万円となりました。(前年同期は17億92百万円の資金獲得)

これは、税金等調整前四半期純利益7億48百万円、減価償却費1億93百万円、売上債権の減少1億17百万円等の収入要因がありましたが、棚卸資産の増加3億64百万円、仕入債務の減少1億16百万円、その他の流動負債の減少2億98百万円、法人税等の支払額4億59百万円等の支出要因により相殺されたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億18百万円となりました。(前年同期は30百万円の資金使用)

これは、主に有形固定資産の取得による支出2億19百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億79百万円となりました。(前年同期は1億91百万円の資金使用)

これは、主に配当金の支払1億36百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年10月24日付「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,676	19,985
受取手形、売掛金及び契約資産	8,819	8,702
商品及び製品	2,226	2,255
仕掛品	99	82
原材料及び貯蔵品	618	971
その他	325	431
貸倒引当金	△14	△11
流動資産合計	32,751	32,416
固定資産		
有形固定資産	3,816	3,878
無形固定資産	168	132
投資その他の資産	7,157	7,541
固定資産合計	11,141	11,552
資産合計	43,893	43,969
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,724	4,218
電子記録債務	2,468	2,857
短期借入金	3,516	3,516
未払法人税等	477	254
賞与引当金	386	383
その他	1,105	857
流動負債合計	12,677	12,088
固定負債		
退職給付に係る負債	246	240
役員退職慰労引当金	989	945
その他	1,280	1,352
固定負債合計	2,516	2,538
負債合計	15,194	14,626
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	26,819	27,181
自己株式	△1,854	△1,854
株主資本合計	28,178	28,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	493	784
退職給付に係る調整累計額	26	18
その他の包括利益累計額合計	519	802
純資産合計	28,698	29,342
負債純資産合計	43,893	43,969

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	18,389	16,779
売上原価	13,476	12,567
売上総利益	4,913	4,212
販売費及び一般管理費	3,358	3,481
営業利益	1,555	730
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	25	28
持分法による投資利益	12	2
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	23	25
営業外収益合計	63	57
営業外費用		
支払利息	20	19
投資事業組合運用損	1	2
固定資産廃棄損	—	15
その他	4	0
営業外費用合計	25	37
経常利益	1,592	751
特別損失		
投資有価証券売却損	12	2
特別損失合計	12	2
税金等調整前四半期純利益	1,579	748
法人税、住民税及び事業税	464	229
法人税等調整額	54	20
法人税等合計	519	249
四半期純利益	1,060	498
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,060	498

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,060	498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90	290
退職給付に係る調整額	△15	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	75	282
四半期包括利益	1,135	780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,135	780

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,579	748
減価償却費	201	193
のれん償却額	9	9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	△2
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△67	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10	△6
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△23	△12
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	39	△44
受取利息及び受取配当金	△26	△29
支払利息	20	19
為替差損益 (△は益)	△2	△3
持分法による投資損益 (△は益)	△12	△2
投資事業組合運用損益 (△は益)	1	2
売上債権の増減額 (△は増加)	1,877	117
棚卸資産の増減額 (△は増加)	151	△364
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	38	△88
仕入債務の増減額 (△は減少)	△916	△116
投資有価証券売却損益 (△は益)	12	2
未払金の増減額 (△は減少)	△129	22
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△277	△298
その他	6	8
小計	2,465	154
利息及び配当金の受取額	26	28
利息の支払額	△20	△19
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△678	△459
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,792	△296
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△117	△219
有形固定資産の売却による収入	2	5
無形固定資産の取得による支出	△10	△9
投資有価証券の取得による支出	△30	△6
投資有価証券の売却による収入	126	4
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	0	—
その他	△1	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30	△218
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△41	△42
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△149	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191	△179
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,572	△690
現金及び現金同等物の期首残高	18,495	19,686
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,068	18,995

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
一時点で移転される財又はサ ービス	9,210	4,125	4,387	—	17,723	—	17,723
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	339	188	—	—	527	—	527
顧客との契約から生じる収益	9,549	4,313	4,387	—	18,251	—	18,251
その他の収益	—	—	—	138	138	—	138
外部顧客への売上高	9,549	4,313	4,387	138	18,389	—	18,389
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	0	162	164	△164	—
計	9,552	4,313	4,387	301	18,554	△164	18,389
セグメント利益	309	1,111	21	112	1,554	1	1,555

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
一時点で移転される財又はサ ービス	8,861	2,647	4,578	—	16,087	—	16,087
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	405	158	—	—	563	—	563
顧客との契約から生じる収益	9,267	2,805	4,578	—	16,650	—	16,650
その他の収益	—	—	—	128	128	—	128
外部顧客への売上高	9,267	2,805	4,578	128	16,779	—	16,779
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	—	161	163	△163	—
計	9,269	2,805	4,578	290	16,943	△163	16,779
セグメント利益	123	426	88	91	729	1	730

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。